

地域に出る

神戸大学 ボランティアと社会貢献のススメ 2026

東日本大震災から15年、神戸と東北を繋ぐ神戸大学生のボランティア



地域の方々と
心温まる交流が
できます!

地域に出よう

大学ではできない
経験を一緒に
楽しみましょう!

かけがえのない
人間関係ができる

子どもたちの
楽しそうな姿が
何よりも
嬉しいです!

子どもたち
のんびり



地域の魅力を、
一緒に発信して
みませんか?

農家さんと
楽しく交流し、
農ボラしませんか?

ボランティアの ススメ みんなの声 2026

学内だけでは
出会えない、
地域の方たちとの
つながりが得られます!

手話を学んで
社会貢献しませんか?

地域に根差した国際交流
コミュニケーションが
ボランティアに

子供たちと、
ともに成長
できます!

自分に合う
ボランティアを
探してみてください

地域の人たちの温かさに触れて、
新しい魅力に気づきます!

歌の力で
さまざまな人たちと
繋がりましょう!

農業体験を通して
国際交流ができる!

自己成長しながら、
社会貢献もできる!?

想像しなかった
楽しさがあります

素敵な出会いが
待ってます!

学生時代のつながりは
未来の宝物

地域の方々と関わったり
イベントを運営したり、
普段できない経験が
できます!

豊かな自然を通じて
素敵な多世代交流が
できます!!



目次

ボランティアのススメみんなの声2026	2
ボランティア団体紹介	
災害・復興を共に歩む学生ボランティアの15年	4
阪神・淡路大震災から東日本大震災へ ボランティアバスプロジェクト 学生震災救援隊 神大モダン・ドンチキ	
被災地の災害・復興ボランティア活動 神戸大学基金支援	6
ボランティア・地域連携	7
神戸大学×神戸大学生×地域×企業×行政 神戸大学生31年の災害・復興ボランティア セミナー	8
これからの災害ボランティア WS パネル展示	9
能登半島地震災害ボランティア意見交換会 地域と一緒に30年	10
灘地域活動センター(N.A.C.) 灘チャレンジ実行委員会	
神戸市「地域貢献賞」を受賞 総合ボランティアセンター 住之江児童館セクション とんかちセクション	
地域で共に	12
障がい者セクション 手話サークル ペンペン草	
専門性を活かして	13
兵庫県小児糖尿病サマーキャンプボランティア/CNF Kobe Med Connect	
神戸の国際力・文化力を支える	14
留学生支援サークルTruss アイセック神戸大学委員会 児童文化研究会 混声合唱団アポロン	
農業はみんなの資本	16
地域おこしサークル「水芭蕉」 地域密着型サークルにしき恋	
誰もが地域の主役	17
国際農業サークルAGLOC 多世代交流拠点サークルLuonto	
子どもたちと一緒に笑顔	18
環境サークルえこふる 摩耶のんびり自習室	
保健学研究科地域連携センターの取組	19
国際文化学研究科地域連携センターの取組 ボラカフェ2025春/神戸大学ホームカミングデイ	20
神戸大学地域連携推進本部 ボランティア支援部門	
授業「ボランティアと社会貢献活動 A・B」	21
ボランティア・社会貢献活動の支援	22
学生団体が受けている助成金 2025年度	23
ボランティア支援部門連絡先	

神戸大学ボランティアバスプロジェクト

東日本大震災を機に発足し、これまで東北で62回、1,700名以上の学生がボランティア活動を行ってきました。現在は、①岩手県(東日本大地震被災地)と②神戸市長田区(阪神・淡路大震災被災地)③能登半島(令和6年能登半島地震被災地)で、A)地域づくりボランティア、B)震災語り継ぎ活動、C)災害復旧・復興ボランティアを行っています!地域の方との繋がりの中でボランティアしたい方、伝承活動に興味のある方、是非一緒に活動しましょう!

H P <https://ku-tono.amebaownd.com/>
ブ ロ グ <https://ameblo.jp/ku-tono/>
Instagram tohokuborabasu(メイン)
神戸大学ボランティアバスプロジェクトの日常
メンバー数 10人
活動場所 神戸市灘区、長田区、岩手県、宮城県、能登半島
連絡先 ku.tohoku@gmail.com
設立 2011年4月30日

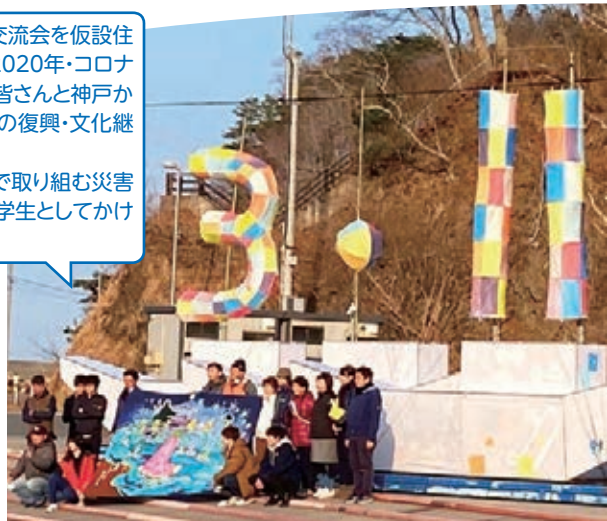


災害・復興を共に歩む学生 阪神・淡路大震災から



2011年から東北被災地で住民皆さんとお茶会や交流会を仮設住宅、復興住宅への移行に伴走しながら開催しました。2020年・コロナ禍の隔離期を乗り越えて大槌町・浪板太神楽保存会の皆さんと神戸からの「よそ者・若者」の力で郷土芸能演舞者として祭りの復興・文化継承と運営サポートをしています。

東北大学SCRUM皆さんと宮城県南三陸町や神戸市で取り組む災害語り継ぎ・語り部交流は、阪神・淡路大震災被災地の大学生としてかけがえのない活動です。





ボランティアの15年 東日本大震災へ



宮城県山元町で年に2回、地域コミュニティ再生を目指して活動しています。東日本大震災により、新たな街で“ご近所さん”と離れ離れになた住民皆さんの地域コミュニティの集まる場を作ろうと、東北まちラボ皆さんと一緒に8月に夏祭りのお手伝いとサロン会、2月は住宅団地全戸訪問とサロン会を開催しています。サロンには初参加の方や子どもたちの訪問があり、地域交流の一助となるよう、活動を継続しています。

神戸大学学生震災救援隊

私たち学生震災救援隊は、阪神・淡路大震災の救援活動をきっかけに生まれたボランティア団体です！最近では、能登半島地震の支援活動などを行っています。救援隊は災害派遣だけではなく地域のお祭りを運営したり、高齢の方と一緒にお茶会をしたり楽器を演奏したりと様々な活動を行っています。活動の幅が広いので、自分がやりたいこともきっと見つかるはず！

X(旧Twitter) @Qentai
 Instagram qentai.volunteer
 メンバー数 約50人
 活動場所 神戸市各所、
 全国の被災地
 設立 1995年1月23日



神大モダン・ドンチキ

日本で唯一のちんどん屋サークル。神戸を中心に関西各地のイベントで、ステージ演 奏や練り歩きながらの賑やかをしています！音楽好きはもちろん大歓迎！楽器未経験でも始めやすい！毎週火・木曜日に学生会館で練習しています。ドンチキで、人とは違う大学生活を送ってみませんか？

X(旧Twitter) @modan_dontiki
 Instagram @dontiki_chingdong
 メンバー数 8人
 活動場所 学生会館



想いと力を届ける 被災地の災害・復興ボランティア活動 神戸大学基金支援

神戸大学は阪神・淡路大震災で被災し、全国から支援を受けて復興しました。
その感謝の気持ちを忘れず、学生の災害・復興ボランティア活動を継続して支援しています。



「神戸大学基金 災害ボランティア活動経費助成」 (登録ボランティア団体対象)



全国の被災地でボランティア活動に継続的に取り組む神戸大学の学生団体(登録ボランティア団体)に対する活動経費助成制度です。31年前の阪神・淡路大震災での被災・復興の経験から復旧期を経た仮設住宅、復興住宅での交流会など生活再建支援活動を長期的に支援するとともに災害語り継ぎ活動を含め、起こり得る災害へ備える防災・減災活動へ繋がっています。

ボランティア支援部門HP「神戸大学の災害ボランティア活動」
<https://www.office.kobe-u.ac.jp/crsu-chiiki/voluntee/saigai/>



神戸大学生による能登半島地震 復旧・復興 災害ボランティア活動経費助成



神戸大学生の安全な復旧・復興災害ボランティア活動を支援するため、学生個人に対する被災地までの交通費助成制度を2024年4月に新設しました。被災地の官民の災害／復興ボランティアセンター、民間団体を通じた活動が主で全国から被災地に参集した社会人、学生同士の出会いの場、交流の機会にも繋がっています。

ボランティア支援部門「災害・復興ボランティア活動の始め方 大学の支援」
<https://www.office.kobe-u.ac.jp/crsu-chiiki/voluntee/hajimekata/>



ボランティア・地域連携 神戸大学×学生×地域×企業×行政

日経グローバル「大学の地域貢献度に関する全国調査2025」の一押しグローバル事業に掲載されました。

「神戸大学生30年の語り継ぎと災害ボランティア」 多様な取組みとパネル展示

第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム 8月30日 神戸学院大学



参加者へ活動内容を熱心に伝える学生たち



今後の活動について藤澤正人学長と学生との談笑

ALL HAT2025(第10回HAT神戸防災訓練) 9月20日 人と防災未来センター



阪神・淡路大震災当時のボランティア活動も紹介
神戸市危機管理局 中央区地域協働課 大和リース株式会社



避難所の模擬体験と同時に展示
神戸市看護大学・ボランティア部 神戸大学地域連携推進本部

2025年度「ポーアイ総合防災フェスタ」 11月1日 神戸学院大学



ポートアイランドの大学、神戸の企業と出展



災害クロスロードカードで災害対策を考える
神戸大学ボランティアバスプロジェクト

阪神・淡路大震災当時のパネル資料協力:神戸大学震災文庫

一般社団法人大学都市神戸産官学プラットフォーム・採択プロジェクト 「企業、行政、大学、住民が共につくる地域防災」

第4回 地域防災の未来セミナー「南海トラフに
備え、東日本大震災の経験と地域から学ぶ」
7月19日



第1回 企業・大学防災セミナー「企業と大学
が防災に取り組む避難訓練・ワークショップ
南海トラフ巨大地震―自分ごとと考えて行
動する」 10月17日



第5回 地域防災の未来セミナー「知る×体験
する ぼうさい教育sample fair」
11月30日



第2回企業・大学防災セミナー「被災者に寄
り添う～企業と大学が取り組むAction～」
11月30日



第6回 地域防災の未来セミナー「地域の目線
で考える 防災と災害対応クロスロードワー
クショップ」 2月11日



第7回 地域防災の未来セミナー「災害看護の
視点で考える My個別避難計画作成ワー
クショップ」 2月11日



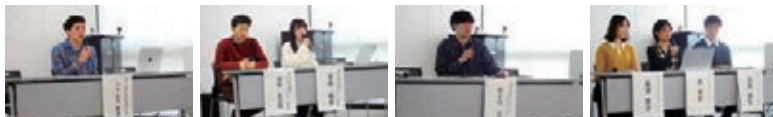
南海トラフ巨大地震等未曾有の災害に備え、広域的かつ多層的な地域防災の体制構築に向け連携した取組みを目指しています。
プロジェクトメンバー大学: 神戸大学(リーダー)、神戸学院大学、神戸市看護大学、神戸松蔭大学、兵庫県立大学、甲南大学
神戸常盤大学、大和リース株式会社、双日株式会社



地域とつながる～神戸大学生31年の災害・復興ボランティア 神戸大学 これからの災害ボランティアセミナー

主催 神戸大学地域連携推進本部
2026年1月18日(日)神戸防災のつどい2026
神戸市中央区文化センター

学生団体	神戸大学生震災救援隊(救援隊)	[1995年]
	神戸大学総合ボランティアセンター(総ボラ)	[1995年]
	神戸大学ボランティアバスプロジェクト(ボラバス)	[2011年]
	Kobe Med Connect(KMCC)	[2024年]
進行	山田 久美子 神戸大学地域連携推進本部特命准教授	[2024年]
	ボランティア支援部門長	



神戸大学生は、阪神・淡路大震災の発生直後から被災者支援、復旧・復興ボランティアに取り組み、大規模災害が起こるごとに全国の被災地に赴き活動してきました。震災救援隊は、3つの内部団体と地元瀬での復興祭、集合住宅でのお茶会、ちんどんのにぎわいづくりや被災地へのボランティア派遣と多様な取組みを31年続けてきました。総ボラは、阪神・淡路大震災後から8つのセクションが地域にかかわることで、社会の解像度を上げながら平時の課題に取り組んでいます。

東日本大震災の支援から始まったボラバスは15年前から続く想いを活かしながら、神戸での1.17慰霊祭、災害語り継ぎ、能登半島へと活動を展開、進化し続けています。令和6年能登半島地震の災害ボランティア活動から開始した医学部生のKMCCは、専門的な知識と在留外国人の社会課題へと関心を広げ、地域団体の活動へ協力しながらボランティアに取り組んでいます。

毎年メンバーがかわる大学生がどういふ思いでボランティア・社会貢献に取り組んでいるのか、迷い、悩み、楽しみ、活動の達成感が言葉の端々に表れていました。その想いととも、学生と大学、地域社会の視点から活動の現在とこれからについて対面・オンラインで60人を超える参加者と意見を交わしました。

参加者の声

- ・若い体力と多彩な知識を持つ学生さん達の素晴らしいボランティア精神は災害の多い日本には絶大な存在です。
- ・自治体に勤務しています。災害が起きた後はボランティアをお願いすることになり、学生さんの方々にもお力添えいただくことを想定すると思うのですが、具体的にどのような活動をなさっているのかを有事に/平時から知る機会はありません。ではないかと思っています自分のできることを考えて行動される、学生さんへの真っ直ぐな思いに襟を正される思いでした。
- ・31年前阪神・淡路大震災で先輩方も大きな被害を受けた神戸大学生が、その経験を学び継承し、1月17日の式典イベントへの参加をはじめ、東北や能登など他の被災地にも実際に足を運び支援活動を行っている点に大きな意義を感じました。
- ・色々な活動を継続し、時には模索しながら頑張っておられる様子がよく分かった。
- ・「ボランティア活動の目的とは違うところでの人との出会いや繋がりがあった」という話しをされていたのが印象的でした。
- ・阪神・淡路大震災から31年が経過するなかで、大学生による災害・復興ボランティア活動の持続可能性を肩の力を抜いて担おうとする姿に共感すると同時に、大学による支援の努力に感謝を受けました。
- ・毎年1.17前後に活動セミナーを開いていただくとありがたい。



活動を社会に出るから生かすために防災研究に位置付け、皆さんが社会のリーダーとなるよう、組織のあり方、地域、人とのつながりを大切にし大学間でも交流してください。大学が災害に強くなり、備えるために活動を支えていきます。

**奥村 弘 神戸大学理事・副学長
地域連携推進本部長**



31年間の学生ボランティアのたすきが繋がりが、その継続性が災害に強い社会をつくります。被災地との信頼関係と大学が社会に果たす役割を学生の皆さんが果たしています。

**松下 正和
神戸大学地域連携推進本部
特命教授・地域連携教育部門長**



継続した取組みに敬意を表します。ボランティアの活動で人間の本来の姿に触れることができ、それを大切にすることが、人を動かす力になります。神戸大学は震災で47名の学生、教職員を奪われました。全国的な活動支援を続け、基金へのご協力もお願いしていきます。

安藤 幹雄 神戸大学特別顧問

地域とつながる～神戸大学生31年の災害・復興ボランティア 学生団体ワークショップ・パネル展示神戸防災のつどい2026 1月18日

神戸市中央区文化センター

パネル展示会場には150人を超える方がお越しください、学生が一緒に回りながら神戸大学生の多様な取組みを一つ一つ紹介しました。ワークショップでは、午前のセミナーでは伝えきれなかった、4つの団体それぞれが活動や現状について、また、これから取り組みたいことを資料や写真とともに紹介しました。参加者との質疑応答、学生が準備した設問をテーマにしたグループディスカッションなど、参加型の取組みでは時間が短く感じるほど会場が盛り上がりました。

「神戸防災のつどい2026」は阪神・淡路大震災から学んだ多くの教訓を次の世代に引き継ぎ、災害に備えるために神戸防災のつどい実行委員会（神戸新聞社、神戸学院大学、神戸市）が毎年開催しています。神戸大学地域連携推進本部ボランティア支援部門は、31年間の学生ボランティアの取組み紹介とその活動によって得た知見、社会課題を共有することで、地域の防災力・減災力の向上に繋げていきます。



能登半島地震から学び南海トラフ巨大地震に備える 災害ボランティア意見交換会 2月11日

人と防災未来センター



お話し「能登半島地震被災地の今」民間災害ボランティアセンター
おらっちゃん七尾 今井 健太郎代表



能登半島地震の復旧・復興ボランティアや神戸で語り継ぎ、外国人支援に取り組む団体と個人が多様な活動を紹介し、50人を超える参加者で意見を交わしました。

大学生 神戸大学ボランティアバスプロジェクト
Kobe Med Connect(神戸大学医学部生)
甲南大学生

高校生 滝川第二高等学校 神戸海星女子学院高等学校

中学生 あすパ・ユース震災語り部隊

社会人 カダミンツ オペラ・ディ・フィオーレ

人と防災未来センター 平林 英二 企画ディレクター



参加高校生の感想

ボランティアの大切さについて改めて認識することができて良かったです。各チームそれぞれで感じることも異なっていてたくさんの事を知ることができました。この経験で得たボランティアの極意をこれからの行いに反映していき、大学生になってもボランティアを続けたいと思うきっかけになりました！

サンテレビニュースで放送・紹介いただきました。

地域と一緒に30年



▶ 灘地域活動センター(N.A.C.)

毎週土日どちらかの午後に、JR灘駅近くの2カ所の集合住宅(県営岩屋北町住宅・HAT神戸灘の浜)で集会所をお借りしてふれあい喫茶を開催しています。お茶・コーヒーや手作りお菓子、そして地域の方同士や学生とのおしゃべりが楽しめる憩いの場になるよう、学生にできることを模索しながら活動しています。クリスマス会などの季節ごとのイベントも開催します。

X(旧Twitter) @NAC_dayo
Instagram @nada_activity_center
メンバー数 約10人
活動場所 JR灘駅近く(県営岩屋北町住宅、HAT神戸灘の浜)
連絡先 nada.activity.center@gmail.com
設立 1997年4月

地域の方々と関わることで
もっと灘が好きになる!

▶ 灘チャレンジ実行委員会(灘チャ)

灘チャレンジは阪神・淡路大震災の復興祭として始まったお祭りです。毎年学生が中心となり、地域の方々と協力して創り上げる灘チャレンジを通して「灘のまちづくりにチャレンジ」してきました。2025年度は9月に開催し、模擬店やステージ企画を通じて灘の温かさを感じていただけるお祭りになりました。

H P <http://www.nadacha-2025.site/>
Instagram @nada_challenge
メンバー数 約35人
活動場所 鶴甲第一キャンパス、オンライン
設立 1995年6月4日



神戸市「地域貢献賞」を受賞

地域の皆さんと30年続けてきた活動が
第1回、第2回表彰の栄誉をいただきました。



灘地域活動センター
令和7年3月25日



灘チャレンジ実行委員会
令和8年3月20日

地域課題の解決に取り組む地域活動の功績を称える賞





▶ 神戸大学総合ボランティアセンター

阪神・淡路大震災をきっかけに、神戸大学生にボランティア活動にもっとふれてもらおう、という目的で設立されました。

現在は九つのセクションに分かれて活動しています。ボランティアの内容は子どもと遊ぶ、障がい者とお出かけする、手話や点字を学ぶ、高齢者とお茶会でお話する、公園を掃除する、地域のお祭りをつくるなど様々です。また、地域から寄せられるボランティア依頼にも参加できます。



X(旧Twitter) @kuvc1995
メンバー数 143人
活動場所 神戸市を中心にセクション毎に展開
設立 1995年5月10日

一言で
「ボランティア」と
言ってもいろんな
ボランティアが!!

▶ 総合ボランティアセンター住之江児童館セクション

住之江児童館に来館している子供たちと遊ぶことが主な活動です。月に1回、トランプ大会やカレンダーづくり、ドミノ大会といった学生企画も行っています。子供たちに、大学生だからこそ提供できる活動を体験してもらえるように企画を考えています。また、夏祭りやハロウィン、クリスマス会などの季節行事もあります!



X(旧Twitter) @suminoe-kids
メンバー数 10人
活動場所 住之江児童館(東灘区)
生田川児童館(中央区)



▶ 総合ボランティアセンターとんかちセクション

とんかちセクションでは月に二回程度、「天井川公園を守る会」との協力のもと、天井川公園の清掃活動を行っています。地域のひとたちと関わりながら、花壇の整備や落ち葉の収集、草木への水やりなど、季節に応じて変化する公園に合わせて様々な作業をします。

X(旧Twitter) @tton_kachiii
メンバー数 30人程度
活動場所 天井川公園(須磨区)

地域で共に



▶ 総合ボランティアセンター障がい者セクション

イベントを通じて障がい者と交流したり地域で暮らしている方の介護に入ったりしています。活動を通して、障がい者が自分の望む地域生活を送るためのお手伝いをします。

X(旧Twitter) @Syoseku_gogo
メンバー数 6人
活動場所 神戸市内各所



▶ 手話サークルペンペン草

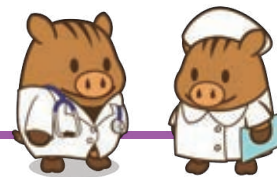
楽しく手話を学びつつ、手話を通じたらう者とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思い、活動しています。

ステージに立ち、パフォーマンスを披露することもあります!

手話経験・学年問わずいつでもメンバー募集中!

X(旧Twitter) @Pen_Pepepen
Instagram @penpen_kobe.uni
we.are.penpenkusa@gmail.com
メンバー数 30人弱
活動場所 六甲台第2キャンパスほか

専門性を活かして



▶ 兵庫県小児糖尿病サマーキャンプボランティア/CNF

1型糖尿病を持つ小中学生を対象としたサマーキャンプの企画・運営を行う医学部の学生ボランティア団体です。キャンプ中は、子どもたちの血糖管理をサポートしたり、運動会やキャンプファイヤー、肝試しなどのイベントを企画したりと大忙し。でも4泊5日で大きく成長する子どもたちには毎年感動するし、何よりキャンプはとっても楽しい!大学生活、非日常を全力で楽しんでみたい医学部学生の皆さん、ぜひお待ちしております!

X(|Twitter) @CNF_DMcamp

Instagram @cnf_dmcamp

メンバー数 30人

活動内容 4泊5日キャンプ(南但馬自然学校)

活動場所 神戸大学医学部附属病院(毎月第2日曜日ミーティング)
神戸市内施設(キャンプ事前イベントや交流会)



▶ Kobe Med Connect (KMC)

2024年に能登半島地震の災害ボランティア参加をきっかけに医学生で結成されたボランティア団体です。災害ボランティア参加や神戸市長田区で行われる阪神・淡路大震災の慰霊祭への参加に加え、日本に住む留学生への食糧支援ボランティア、在留外国人の方々に向けた健康課題に関するアンケートなどを行い、地域や国籍を越えたつながりづくりを目指して活動しています。

メール crsu-vol@office.kobe-u.ac.jp

メンバー数 3人

活動場所・頻度 イベントごとで異なります

神戸大学留学生支援サークルTruss

Trussは、神戸大学の留学生と日本人学生の交流を通して、留学生の日本での生活をサポートし相互理解を深めることを目的としたボランティア団体です。GECでの「お話会」をはじめ、各国の料理を一緒に作るクッキングイベント、街歩きを楽しむ「テクトラ」など、様々な活動を行っています。また、希望者による言語交流会(LEC)では、留学生の日本語学習のサポートも行っています。

H P <https://truss-newhp.jimdofree.com/>
Instagram [_trusstagram_](#)
メンバー数 300人弱
活動場所 神戸大学・六甲道周辺



神戸の国際力・

アイセック神戸大学委員会

アイセックは、世界100以上の国と地域に支部を持ち、約30,000人の若者が所属する非営利組織です。私たちは「平和で人々の可能性が最大限発揮された社会」の実現を目指し、若者のリーダーシップを育む事業の運営をしています。アイセックの海外支部や卒業生の方々と協力しながら、海外インターンシップやオンラインでの国際交流プログラムを運営しています。

X(旧Twitter) @AIESEC_KB
Instagram @aiesec_jp_kb
メンバー数 80人
活動場所 コミスタ神戸





神戸大学児童文化研究会(どうけん)

児童文化研究会は、111年の歴史を持つ、子どもと触れ合う児童ボランティア団体です。保育園や児童館で人形劇を企画する人形劇グループ、季節ごとのイベントや遠足を企画する子ども会グループがあります。活気あふれる雰囲気、部員全員で協力し、子どもたちと一緒に楽しめる企画を作り上げられることが魅力です。人形劇をしてみたい人や子どもが好きな人、子どもと遊びたい人はぜひ見学や体験に来てください!

H	P	https://douken-kobeuniv.amebaownd.com
X(@Twitter)		@DOKEN01
Instagram		@kobe_doken ,
メンバー数		36人
活動場所		部室(六甲台第1キャンパスグラウンド横)
イベント		神戸市灘区鶴甲、東灘区香美町、豊岡市
活動回数		週2回程度



文化力を支える



神戸マラソン2025

神戸大学混声合唱団アポロンと神戸大学混声合唱団エルデが応援ソング「しあわせ運べるように」(白井真指揮)の歌でスタートを応援しました。



令和7年11月16日

神戸大学混声合唱団アポロン

1948年に「御影混声合唱団」として創団した70年以上の歴史を持つ神戸大学公認の混声合唱団です。週3回学内施設や神戸市・西宮市の公民館等で練習しています。毎年12月には活動の集大成として定期演奏会を開催しています。その他、大学行事や地域の合唱イベントに参加したり、関西の連盟組織に所属したりして、合唱文化の維持継承、および演奏を通じた地域交流支援活動を行っています。

H	P	https://kobe-apolloon.jimdofree.com/
X(@Twitter)		@kobe_apolloon
Instagram		@kobe_apolloon
YouTube		https://www.youtube.com/@apolloonbox
メンバー数		約40人
活動場所		神戸大学内、神戸市・西宮市等近隣の公民館
イベント		神戸市、伊丹市ほか



農業はみんなの資本



▶ 地域おこしサークル「水芭蕉」

地域おこしサークル水芭蕉は、主に兵庫県養父市の地域活性化を目的に設立されました。現在は、別宮の棚田で農作業をしており、特に耕作放棄地の解消に向けて農地を開墾しています。農作業だけでなく、養父市のPRも行うサークルです!一緒に農村を盛り上げたい方、特にオススメです!

X(旧Twitter) @mizubasyo_yabu.
Instagram @mizubasyo.yabu
メンバー数 26人
活動場所 兵庫県養父市



農業をすることで
心も身体もリフレッシュ!

▶ 神戸大学地域密着型サークルにしき恋

「食と農、都市と農村の架け橋になる」を目的とし、以下の活動を行っています。農業ボランティア:農作業の人手不足を補うとともに、学生が農業に関する知識・技術を向上させるために農家さんのお手伝いをしています。耕作放棄地(にし恋farm)管理:田畑の管理を学生が主体的に行い、農産物の生産から販売までを実践しています。地域交流:地域の祭礼参加、学生主体のイベント実施等により地域活性化にも取り組んでいます。

H P <https://nishikoisasayama.wixsite.com/home>
X(旧Twitter) @nishikikoi2013
Instagram @nishikikoi.sasayama
メンバー 130人
活動場所 兵庫県丹波篠山市

誰もが地域の主役



▶ 神戸大学国際農業サークルAGLOC

農業と国際交流がテーマのサークルです!月1,2回ほど留学生と共に農業ボランティアを実施しています。また、地元のイベントにも携わることができ、地域との距離の近さが味わえます。また、神戸大学国際交流課主催の留学生日本文化旅行にて観光の引率も担当しています。アットホームな雰囲気のサークルです!農業や国際交流に興味のある方はぜひ!

H P http://agloc.net/home_AGLOC.html
X(|Twitter) @AglocKobe
Instagram @agloc.kobe
メンバー数 16人
活動場所 兵庫県丹波篠山市
連絡先 agloc.kobe@gmail.com



▶ 多世代交流拠点サークルLuonto (Luonto)

2022年度に農学部の授業から誕生。

アグリステーション丹波ささやまにて、多世代交流づくりを目標に活動しています。丹波篠山での学生カフェ運営(現在準備中)とボランティア、六甲道の成徳小学校とのまちむら交流(稲刈り交流や、イベントへの参加)を軸に活動中です。DIYから料理、農作業まで幅広く動いています。少人数なので、色々挑戦しやすいところもルontoの魅力。美味しいものと自然にどっぷりつかりたい方、求む!

Instagram @luonto_kobe
メンバー 約30人
活動場所 アグリステーション丹波ささやま(兵庫県丹波篠山市)

子どもたちと一緒に笑顔



▶ 環境サークルえこふる

主に神戸大学生や地域の方の環境問題への意識を高めることを目的に活動している環境サークルです。2025年度は、食品ロスがテーマのオリジナルかるたを使った出前授業を行い、廃棄予定の野菜などから作られた「おやさいクレヨン」でも遊びました。子どもたちの大きな反応がやりがい、とても楽しいです^^企画から取り組みたい方、子どもが好きな方、教育や環境問題に関心がある方、お待ちしております！

H P <https://ecofullkobeuniv.wixsite.com/-site>
X(旧Twitter) @iRgFHqkxYMi8X5N
Instagram @ecofull_kobe
活動場所 神戸市内の児童館、地域福祉センターなど



▶ 摩耶のんびり自習室

小中高校生を対象にした学習支援ボランティアを月に2回のペースで行っています。子どもたちにとって、たまに会える優しくて安心なお兄ちゃんお姉ちゃんになればと思っています。のんびり喋ったり、たまに勉強をしたり、とにかく居心地のいい居場所を目指しています。映画会の開催や、地域のお料理教室や餅つき大会に参加したり、本当に自由に行っていますので、気軽にご連絡ください~!のんびり待ってます!

X(旧Twitter) @maya_nonnbiri
Instagram @nonnbiri_mayatiku
メンバー数 15人程度
活動場所 摩耶地域福祉センター

保健学研究科地域連携センター ボランティア・社会貢献の取組

私たち「ちゃぼ」は、小学校で病気をもつ子どもや心の悩みを抱える子どもと一緒に学習したり、会話や遊びを通して、子どもたちが楽しく学校生活を送れるようにサポートするためのボランティアサークルです。

極低出生体重児とそのご家族、発達が気になるお子さんとそのご家族の子育て支援教室でもボランティアを行っています。子育て教室では、お子さん向けの託児やご家族向けのプログラム、親子で参加するイベントでボランティアスタッフとして活躍しています。

お問い合わせ先

Eメール soejimat@people.kobe-u.ac.jp
(担当 副島)



サークルのHPはこちら→



国際文化学研究科地域連携センター ボランティア・社会貢献の取組

現在デジタルカメラやスマートフォンで撮影されている動画、1980年代まで8mm幅の映画フィルムで撮影されていました。それらの映像はもはや地域の貴重な歴史資料として再評価され、コミュニティの結束と高めて歴史を継承する重要な役割を果たすようになってきました。赤穂郡上郡町と連携し、地域映像をデジタル化して上映する「8ミリ映像上映会」を開催し、今ではなくなってしまったお祭りの様子をはじめ、地域の歴史を具体的な映像で継承する活動に取り組んでいます。

協力:神戸映画資料館

お問い合わせ先

H P <http://promis.cla.kobe-u.ac.jp/community-partnerships/>
Eメール [gicls-promis\[at\]research.kobe-u.ac.jp](mailto:gicls-promis[at]research.kobe-u.ac.jp)



「神戸発掘映画祭2025」にて上郡町の8ミリ映像フィルムを上映



上郡町合併70周年記念事業「かみごおりが語るお宝映像をみんなでわいわい楽しく見る8ミリ映像上映会」を共同で開催





ボラカフェ2025春

4月9・10日(新歓) 5月21日(新歓・交流会)

～ 鶴甲第1キャンパス・学生ホール ～



ボランティア活動を始めたい新入生・在学生に向けて、学生団体とボラカフェと交流会を開催し、200人超の学生が参加しました。



学内のボランティア・社会貢献活動に取組む学生団体・サークルの新歓と交流会を開催
4月9・10日



灘区地域協働課が参加され、灘区役所学生ボランティア活動推進制度を紹介
5月21日

”ボランティア・カフェ”は学内のボランティア・社会貢献活動に取組む団体・サークルが集まり、互いの活動紹介や交流と、新しいメンバーの参加の場です。

神戸大学地域連携推進本部

地域連携推進本部は、大学全体として地域貢献に取り組むための窓口となり、自治体と連携し、本学の人的・物的資源を活用し、個性豊かな地域社会の形成を支援するとともに地域課題の解決を図り、地域の発展を支援する地域連携事業を推進する組織です。

- ・ 地域との連携活動に関する対外的な窓口機能
- ・ 魅力ある地域づくりへの協力
- ・ 神戸大学と自治体との連携事業の推進
- ・ 神戸大学における地域連携の組織的な取り組みへの支援
- ・ 神戸大学地域連携推進連絡協議会の運営
- ・ ボランティア・社会貢献活動への支援



神戸大学ホームカミングデイ

「振り返れば六甲の山並～あの頃の友に会いたい」



地域密着型サークルにしき恋特産!
「にしき恋ファーム」黒枝豆販売!
沢山の方に購入いただきました。



災害・復興ボランティア活動・写真展
能登半島地震復旧・復興ボランティア
東日本大震災、阪神・淡路大震災語り継ぎ
神戸大学ボランティアバスプロジェクト

ホームカミングデイ第19回 2025年10月25日(土)

ボランティアの語源はラテン語のVoluntas「自由意志」といわれています。授業はオムニバス形式で、(A)は教員、幅広い分野で活躍する専門家、NPO関係者、企業人の講義、(B)はボランティアの現場での実習回があります。詳しくは大学のシラバスを参照してください。

ボランティアと社会貢献活動(A) <第3クォーター>

教員、弁護士、企業人、NPO関係者など多様な講師陣によるオムニバスの座学講義。ボランティアと社会貢献は、今や特別な行動ではなく日常となっています。社会、あるいは大学の中でのボランティア活動や社会貢献の取組を多様な視点、アプローチで学びます。



地域医療とボランティア

災害・復興とボランティア

国際協力と社会貢献・フェアトレード

メディアと社会貢献

専門性とプロボノ・ボランティア

観光・文化・芸術と社会貢献

企業と社会貢献 CSR/CSV

理論とまとめのワークショップ



ボランティアと社会貢献活動(B) <第4クォーター>

地域でボランティア・社会貢献活動を実践している講師によるオムニバス講義を受けます。講義後、関心ある2つ以上の実習を選び、その実習実施日(あるいは希望日)に現場へ足を運び、ボランティア実習に取り組みます。

灘区のにぎわい 商店街・摩耶山(座学)

ユニバーサル社会と障がい者(座学)

阪神・淡路大震災、東日本大震災と多文化共生

● 実習回(第1回)実習場所の希望を選択

農業ボランティアと地域(座学)

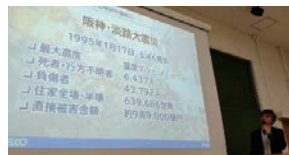
地域に根付いたボランティア(座学)

● 実習回(第2回)実習場所の希望を選択

「地域に出た」まとめのワークショップ



株式会社神戸製鋼所 卒業生の講義
総務・CSR部サステナビリティ推進グループ
東山 高志グループ長
「立つ位置によって、見え方は変わる」



阪神・淡路大震災による甚大な被害
会社は誰のためにあるのか

ボランティアと社会貢献活動(A)(B)受講者の感想

- ・ボランティアというものの範囲の広さ、性質の多様さに驚かされた。
- ・授業で感じた「誰かの役に立てみたい」という気持ちを行動に移すことが出来た。きっかけをいただきありがとうございます。
- ・一人一人の強い思いを聞くことが出来て勉強になった。僕自身はテレビ業界で働き「人々を笑顔にできる番組」を作りたいです。
- ・毎授業、違った背景を持った方々が登壇していただき、異なった視点からボランティアに対する考えを深めることが出来た。
- ・自分の専門に結び付けて地域に貢献したいです。・相手のニーズをよく理解して対話を重ねることが重要だと学んだ。
- ・社会人になって仕事(利益追求)だけでなく、社会貢献を両立している人たちはキラキラして話を聞いて良かった。
- ・プロボノ/ボランティアについて興味深かった。・勇気ももらった。
- ・社会への解像度が高くなっていきました。すごく良かったです!・地域医療、授業を通して面白そうと思った。
- ・どんなボランティアでも新たにうまれる関係や人脈を目的に私は参加するのだと思う。
- ・日常生活や職業選択中でも貢献できる多様な形があることを知りました。
- ・プロフェッショナルの人々がボランティア活動の意義を詳細に語ってくれたり、今までのボランティア概念が変容した。
- ・小さな取組みの積み重ねの必要性について再認識できる契機となった。
- ・農業ボランティアが神戸大学で行われていることに驚いた。・良い意味で各業界に対するイメージが変わりました。
- ・メディア情報の発信の仕方一つで人々の意識や行動を変化させ、社会貢献に繋げていることを聞いてとても良かった。
- ・企業などが推進することでより大きな規模で様々なボランティアを行えることを知った。無償も有償も有ることを知った。
- ・ボランティアを一人で始めるのはハードルが高かったので授業で実習を試みたかった。
- ・地域で日頃どんな活動があるのか知りたかった。・ご登壇いただいた方々に感謝を伝えたいです。

バイオリージョナリズム 生命地域主義
灘区の仕掛け人 六甲技研 慈 憲一代表



「自由な個人の活動 まちあそび」
住民が楽しむ → 街がにぎわう

ボランティア・社会貢献活動の支援

ボランティア支援部門

◎ ボランティア・社会貢献活動スタートのお手伝い

- 1 興味関心のあるテーマにあった活動やグループ・団体の紹介
どこから活動をスタートしたらいいかわからない、という方へ、学内外のボランティア活動、関係団体を紹介します。
- 2 ボランティアグループ立ち上げなどへのアドバイス
仲間をつくって活動を始めたい方、案の実現に向けた企画書、規約づくり、助成金申請など支援します。
- 3 ボランティア関連の情報発信
メールニュース、Facebook、Instagram、X(旧Twitter) SNSフォローしてください。
学内外のボランティア情報や募集案内をお届けします。
◆ 災害ボランティア活動相談の仕組みがあります。連絡お待ちしています。
◆ ボランティア保険に加入しましょう！

◎ ボランティア・社会貢献活動団体等への助成事業

- ☆「学生地域アクションプラン」(神戸大学生の学生団体対象)
地域社会と連携した学生ボランティア活動等支援助成
- ☆「能登半島地震における神戸大学生の災害ボランティア活動経費助成」(学部生・修士院生対象)
学生個人が取り組む被災地でのボランティア活動への交通費・宿泊費の助成
- ☆「神戸大学基金「災害ボランティア活動経費助成」(神戸大学生の登録ボランティア団体対象)
県外の被災地、兵庫県内での災害復旧・復興支援等のボランティア活動

【授業】全学共通授業科目 1・2・3・4年対象(令和8年度)

ボランティアと社会貢献活動 A (第3クォーター・水 5限)

ボランティアと社会貢献活動 B (第4クォーター・水 5限)



ボランティアを始めたい／頑張っている活動の一層の展開を考えている学生・教職員の地域活動、社会貢献活動をお手伝いします。

◎ 神戸大学登録ボランティア団体の支援内容と活動のお手伝い

神戸大学学生ボランティア団体の活動支援を目的とした登録制度があります。
兵庫県内外で農業、災害、地域福祉、国際、多世代交流、学習支援など多様な分野で活躍する、20以上の学生団体が登録しています。
“ボラカフェ”(ボランティア団体の交流カフェ)や“新歓”(新入生歓迎会)を合同で開催したり、案内チラシの印刷やイベント時にカメラ・ビデオ、プロジェクターほかの備品を貸し出したり、活動相談にも乗ります。
地域福祉、国際、多世代交流、学習支援、農業、災害など、多様な分野で活躍する学生団体が登録しています。多様な支援メニューがあるので相談にきてください。(要事前予約)

- 1 団体運営の相談
仲間づくり／情報発信／会計処理／資金調達／世代交代など「運営について考えた」い時などに声をかけてください。
- 2 ミーティングルーム貸出 [産官学連携本部棟F] 月2回程度／各団体(相談ください)
- 3 活動用機材の貸出
プロジェクター、ビデオカメラ、デジタルカメラ、オンラインカメラ、ワイアレスマイク・スピーカー、神戸大学名入りビブス・ブルゾンほか
- 4 ボランティア活動資料作成の手伝い・印刷(要事前相談)
- 5 団体のイベント、研修会企画、会場や講師の紹介など、実施支援
- 6 各団体のイベント情報の発信(内容や希望に応じて)
地域連携推進本部ボランティア支援部門ホームページにて各団体の紹介や活動取組を掲載します。

登録ボランティア団体

- ▶ AGLOCー神戸大学国際農業サークル
- ▶ 神戸大学地域密着型サークルにしき恋
- ▶ 神戸大学地域おこしサークル水芭蕉
- ▶ 神戸大学学生震災救援隊
- ▶ 神大モダン・ドンチキ(震災救援隊)
- ▶ 神戸大学ボランティアプロジェクト
- ▶ アイセック神戸大学委員会
- ▶ TRUSSー神戸大学留学生支援サークル
- ▶ 神戸大学国際協力NGO PEPUP
- ▶ 神戸大学混音合唱団アポロン
- ▶ 多世代交流拠点Luonto
- ▶ 神戸大学児童文化研究会
- ▶ 環境サークルえこぶる
- ▶ 神戸大学総合ボランティアセンター
- ▶ ① 灘チャレンジ実行委員会セクション
- ▶ ② 灘地域活動センター(N.A.C.)セクション
- ▶ ③ 手話サークルべんべん草セクション
- ▶ ④ 住友江尻倉庫セクション
- ▶ ⑤ 障がい者セクション
- ▶ ⑥ 点訳セクション
- ▶ ⑦ とんちセクション
- ▶ ⑧ まーくん☆チームセクション
- ▶ 摩耶のんびり自習室
- ▶ ボランティアサークル ちゃぼ
- ▶ 小児糖尿病サマーキャンプボランティア／CNF
- ▶ Kobe Med Connect

学生団体が受けている助成金 2025年度

令和7年度能登半島地震支援助成

(神戸市)

1.17あしやフェニックス基金

(芦屋市)

(丹波地域)学生等による地域貢献活動推進事業

(兵庫県丹波県民局、丹波篠山市)

ひょうごボランタリー基金助成事業

(ひょうごボランタリープラザ)

ひょうご若者被災地応援プロジェクト

(ひょうごボランタリープラザ)

地域コミュニティ再生支援事業補助金

(宮城県)

コープともしびボランティア振興財団

神戸大学育友会

神戸大学基金

神戸大学医学部医学科後援会

学生地域アクションプラン

(神戸大学地域連携推進本部)

学生ボランティアサポート

(神戸大学地域連携推進本部ボランティア支援部門)

地域に、社会に支えられる活動



神戸大学では学生・教職員のボランティア・社会貢献活動を支援しています。ボランティア・社会貢献に関心ある学生の活動スタートアップのサポート、ボランティア活動を受け入れる地域とのマッチングや、学生たちが主体的に取り組む多様なボランティア活動の現場に足を運んでいます。その上で学生・団体との意見交換を行うとともに、地域や自治体、社会福祉協議会、NPO関係者と連携を図りながら応援しています。「ボランティアと社会貢献活動(A)・(B)」では、社会で活躍するオムニバスの講師陣から実践と理論を学べます。

**ボランティア支援・相談：事前予約アポイント制です。
お気軽にどうぞ。**

神戸大学地域連携推進本部ボランティア支援部門

事務担当：研究推進部 連携推進課

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1

産官学連携本部 5階(六甲台 第2キャンパス)

TEL：078-803-5391 FAX：078-803-5389

Eメール：crsu-vol@office.kobe-u.ac.jp

地域連携推進本部ホームページ <https://www.office.kobe-u.ac.jp/crsu-chiiki/>



Facebook：@volunteerchiikikobeu

Instagram：@volunteerkobeu

X(旧Twitter)：@kobeuvolunteer

本冊子は神戸大学基金の助成を受けています

